

知床の森から

平成23年9月 第133号



知床森林センター広報紙



北海道森林管理局 知床森林センター
〒099-4355 北海道斜里郡斜里町ウトロ東番外地(国設知床野営場内)
電話 0152-24-3466 FAX 0152-24-3477
ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>



最新イベント報告

○ 9月18日(日)、羅臼町にて植樹と昆布加工体験のイベントを行いました。植樹による森づくり活動の重要性・必要性について体感するとともに、昆布加工を通して森と海とのつながりについての理解を深めることを目的として開催しました。羅臼産の海産物満載の豪華「海弁当」付きのお得なイベントです。



参加者は20名。9歳から20歳前後の参加者が半数近くを占める若さあふれるイベントとなりました。職員による植樹手順の説明の後、一人あたりミズナラを3本、アカエゾマツを1本ずつの割り当てで作業に入りました。ミズナラにはエゾシカの食害から苗を守るための高さ2mほどの六角形のチューブ(ヘキサチューブ)を設置しました。あいにくの雨の中の体験となりましたが、参加者は皆一生懸命がんばって知床の森に苗木を植えました。



昆布加工体験では、羅臼漁業協同組合のご協力により「おつまみ昆布」のカットと袋詰めを体験しました。加工場では、漁協の方からの昆布についての詳しい説明や昆布倉庫の見学・試食も行いました。最後に、参加者は自ら加工した「おつまみ昆布」をお土産にいただきました。



今回の体験を契機として、豊かな海の背後にある豊かな森の存在へと思いを至らせ、それによって国民参加の森づくりに対する理解をより一層深めていただければ幸いです。

第85回森とのふれあい「木工作と紙すき教室」の報告



8月3日(水)、夏休み期間中の子どもを対象とした「木工作と紙すき教室」を開催しました。内容は、知床で集めた木の枝や松ボックリを使った木工作と紙パックを利用した紙すきの体験です。斜里町内の小学校1～6年生までの親子17名が参加しました。

紙すきの作業は手順が多く骨が折れますが、みんな一生懸命紙パックをちぎりと、すき杵を使って上手に紙づくりを行っていました。それぞれ少しずつ異なる、個性豊かなポストカードが完成しました。木工作では、様々な木の実や枝を利用し、自由に作品を作ってもらいました。子どもたちは、慣れない作業に戸惑いながらも、「ノコギリを使うのが面白い」などと積極的に木工作に取り組んでいました。小学生の柔軟な発想を生かし、様々な個性溢れる作品が完成しました。会場には楽しそうな声が溢れ、木工作や紙すきを楽しんでいる様子が伺われました。



ロングランイベントの報告

「夏休み森林教室」

7月25日(月)～8月30日(火)で開催しました。平日のみながら期間中は毎日開催とし、また、時間帯も工夫(16:00～)した結果、通算18回で延べ115人の参加となりました(昨年度:全3回、延べ15人)。

職員からの一言

○参加者から良い反応が返ってくると思わず心の中でガッツポーズをとっている自分がいました。緑化思想啓発の草の根活動とも言うべきものですので、次回さらに工夫していきたいと思います。(イ)



○森林教室では少し変わった体験をしてもらおうと自分なりに工夫したつもりですが、なかなか慣れないせいとかうまくいかなかったり、いまいち盛り上がりなかったかな～と反省しています。今後は、自作のゲームを出来たら～と思います。(タ)

○一方的な解説よりも参加者が自ら気付いて木や森での出来事を記憶に留めていただけたらという思いで行いました。目隠しをして、手の感覚だけで木や葉を当てるゲームでは、参加者は楽しみながら触り比べ、樹皮等の特徴に気付いたことと思います。(ミ)

「夏休み木工作体験」

7月1日(金)～8月30日(火)の約2ヶ月間「夏休み木工作体験」を開催しました。子どもの夏休みと重なる期間でもあり、キャンプ場に連泊している方や地元の子どもの中心に、連日多くの方が木工作を体験しました(総計224名)。以前体験した木工作が楽しくてまた訪れた方もいました。

親子で仲良く1つの作品を完成させる様子や、友達同士で楽しそうにも工作を楽しむ様子、次々と作品を作り上げていく姿などから、木に親しみ、木を利用する楽しさを十分に感じられたことと思います。

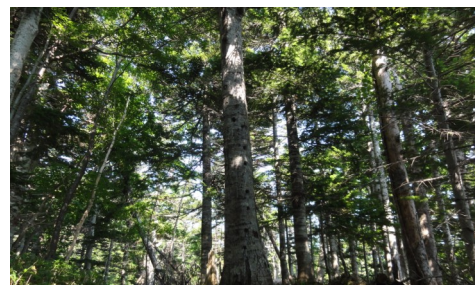


○参加してくれる子ども達の、生き生きと嬉そうな顔を見るのが楽しみでした。森林(キャンプ場)のなかで遊んだ楽しい記憶が少しでも残ってくればいいなと思います。(シ)



「知床森の写真コンテスト～僕も私も森のカメラマン～」

24点の応募がありました。審査の結果については当センターHPをご覧ください。
(後援)知床斜里町観光協会、知床羅臼町観光協会(協賛)日本森林林業振興会旭川支部北見支所
(協力)知床写真クラブ、(有)大橋スタジオ・PHOTO未来



「葉っぱでクラフト～森の動物&種カード作り」

知床の樹木の葉や種を使い当地に生息する動物等のカードを作ることによって木の種類や特徴を学びつつ森へ親しみを感じることを目的としています。遠くは札幌からの体験者もありました。「自然のものを使うってステキですね!」「葉っぱっていろいろな形や色があって楽しいですね～」等の声が寄せられています。10月2日(日)までの開催です。

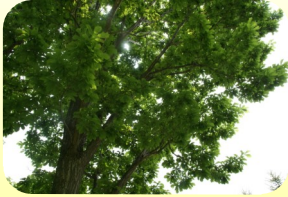


調査業務の現場から

ミズナラ堅果結実調査

今年度もミズナラ堅果結実調査が始まりました。当センターでは、平成元年より毎年、知床を代表する樹種である「ミズナラ」の生態把握を目的に堅果(どんぐり)の結実(個数と重量)調査を実施しています。調査方法はミズナラの木の下に「シードトラップ」という仕掛けを設置して堅果を採取するというものです。9月28日現在で4回の採取を終えましたが、まだまだ量が少なく、緑色の熟していない堅果や数ミリ程度の小さなものも多く見られます。

調査結果についてはホームページや広報誌等で報告致します。



大学生によるネット巻き体験!!

9月8日(木)、すがすがしい秋晴れの中、東京農業大学、龍谷大学、岐阜大学の学生と教員(計28名)が「地域と企業」研修プログラムの一環としてエゾシカ樹皮食害防止ネット巻き体験をしました。

はじめに当センター所長より施設の概要を含めた挨拶があり、その後イチイ遺伝資源保存林を経由して現地に向かいました。現地ではエゾシカによる食害の現状や作業手順を説明した後、被害の多いイチイと広葉樹全般にネットを巻きました。学生は「どうしてイチイに被害が多いのか」「どうやって食べるのか」など様々な疑問を抱き、興味を持ってくれているようでした。

今後もこうした活動を続け、より多くの人に知床の森林とエゾシカによる食害の実態等について考えてもらうきっかけを作っていきたいと思います。



その他の活動の紹介 ～地域の各種行事にも参加しています～

JC「サマーキッズキャンプ」

8月6日(土)、(社)斜里青年会議所(JC)主催「サマーキッズキャンプin知床」が開催されました。これは町内の小学校高学年の児童を対象とした自然体験型の1泊2日のキャンプで、当センターは「エゾシカ樹皮食害防止ネット巻き」及び「木の箸作り」体験のお手伝いをしました。

ネット巻きでは「エゾシカ食害の現状とネット巻きの必要性」を、箸作りでは「身近なものに木を使うことの魅力と大切さ」を学んでもらいました。子どもたちからは「もっとネット巻きをして、森を守りたい。」「作った箸を早く使いたい。」という声が聞こえ、森林保護活動や木材加工についての関心を深めるきっかけになったのではないのでしょうか。



第8回 知床しゃり楽市・楽座への出展

8月28日(日)、「木になるあそびのひろば～木のボンホロ沼とカスタネットづくり～」と題して出展しました。

「木のボンホロ沼」は、知床自然観察教育林内にあって時期により姿を変えるボンホロ沼になぞらえて形やサイズを変えられるようにした木枠の中にたくさんの木球を入れた遊具です。木球に埋もれる子どもや1時間近く遊び続けた子どももあり、理屈抜きで木質の良さを体感できたのではないのでしょうか。また、カスタネット作り



は57名の方が体験しました。会場でカスタネットの高い音が響く度に、木の良さをを感じるきっかけを少しでも提供できたのではないかと感じました。

「楽市・楽座」全体の人出は約1,200人規模とのことです。今回の体験者数はその1割にも満たない数でしたが、より多くの方に木の良さを知ってもらうために引き続き努力していきたいと考えています。



第32回 しれとこ産業まつりへの出展

9月25日(日)、夏の名残を感じさせるような汗ばむ天気の下、第32回しれとこ産業まつりに出展しました。

内容は、丸太切りとコースター作り、そして木のボールペン作りを体験するものです。いずれとも木を加工しちょっとした日常品を作ることによって木の良さを感じてもらうものです。オープン直後からコンスタントに体験客が入り始め、時折順番待ち状態になるなどしながら最後まで途切れることはありませんでした。



ほぼ9割方小学生の子どもでしたが、日常生活の中で刃物を使う機会はあまりないようで、木を削る作業に苦労している姿が多く見られました。それでも、自ら加工し作り上げた完成品を手にした瞬間にパッと輝くような表情を見ることもあり、多くの子ども達に木の良さを体感してもらえたのではないかと感じました。



知床 は今

毎夕100名を超える観光客で賑わった知床八景「夕陽台」も、このところは20名ほどになってきており、秋を感じさせます。しかし、9月に入ってから気温が高かったためか、知床の森の中では、あちらこちらで秋のキノコと夏のキノコが同時に見られます。秋？それともまだ夏？

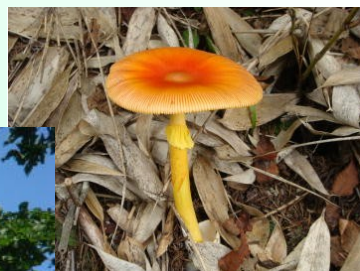
今年は殆ど中国語を耳にすることがなかったように思います。やはり秋。（空き？）

気がつけば知床観光のハイシーズンも終盤となり、森林センターの所在地、国設知床野営場は今月末で今年の営業を終えます。

でも、ちょっと待って下さい。知床って夏場と流氷時期だけが魅力があるの？

いやいや住んでる者しか知らない魅力がタップリあります。

知床まで足を運んでみて下さい。お運び頂いた貴方だけに、そっとお教えします。誰もが知らない世界を。（ヒ）



秋のキノコ 「タマゴタケ」

夏のキノコ 「タモギタケ」

ボランティア活動施設から

最近急に肌寒くなりました。昼夜の気温差が大きくなりカエデやナナカマドの葉は少しずつ色づき始め、秋本番の訪れを視覚でも感じることができるようになりました。

知床に紅葉鑑賞に来る方も多いかと思いますが、その前にぜひお立ち寄りいただきたいのが当センターの「森の絵本コーナー」です。樹木目で見た知床の動物達の暮らしを取り上げたもの、ヒグマやシマフクロウ、キタキツネ等を主人公とした楽しく、そして心温まる絵本を取りそろえております。

これらの絵本を読んだ後では、森林や動物に対する見方が変わり、より知床の自然が心に残るものになると思います。紅葉鑑賞もひと味違ったものになるのではないのでしょうか。

当センターでは、これら絵本の他にも知床の森林に関する展示や予約せずとも施設内で気軽に体験できるイベント等をご用意して皆様をお待ちしております。知床にいらした際は、当センターへぜひお立ち寄りください。（ナ）

※当センターでは、施設内展示のより一層の充実化を図るため、8月より施設利用に関するアンケートを実施しております。お立ち寄りの際はご協力いただきますようお願いいたします(粗品進呈)。



10～11月のイベントのお知らせ

○ロングランイベント

草木染め（10月6日～11月18日）

秋の森の恵みを利用した草木染めをしませんか？紅葉した葉や熟した木の実から作った染液で染め、オリジナルのハンカチやバッグを作りましょう!!

リースづくり（11月24日～12月25日）

クリスマスや贈り物にオリジナルリースを作りませんか？ヤマブドウの蔓をもとに自由なアレンジで木の実や松ボックリで飾りましょう!! ※12月10日、トドマツの葉を利用した本格的なクリスマスリースづくりも開催します。

○その他

10/1～16 北見市緑のセンターにおいてパネル展示を行います。



☆ 知床森林センターホームページ。「ブログ・知床の四季」では旬な知床情報をお届けしています！

→ <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>



この広報誌は道産間伐材を使用しています。